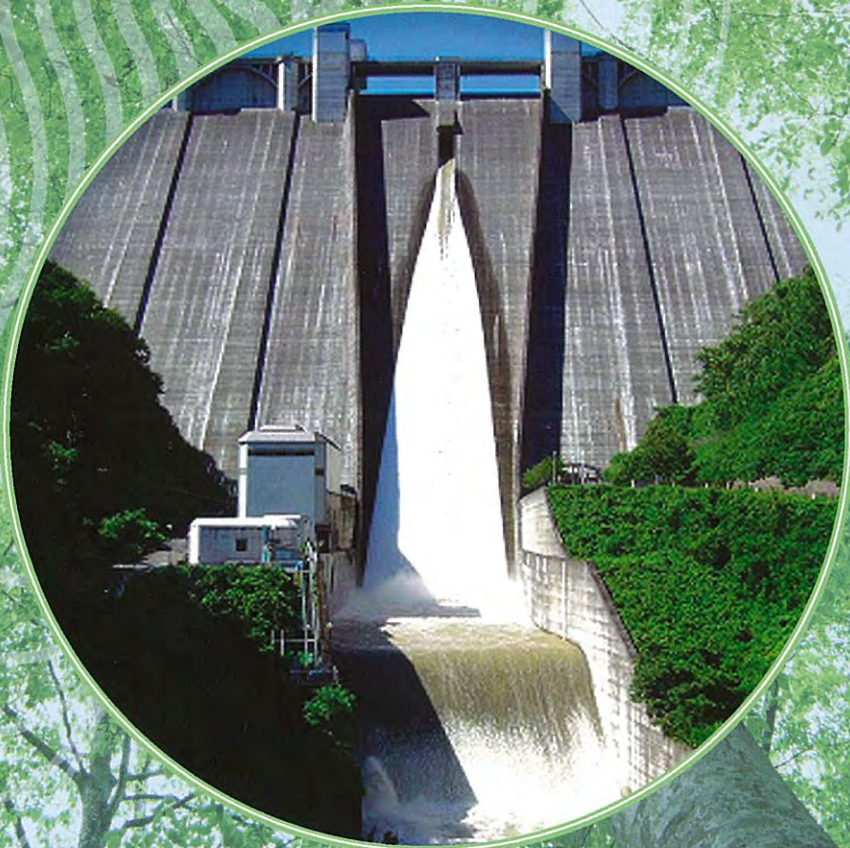
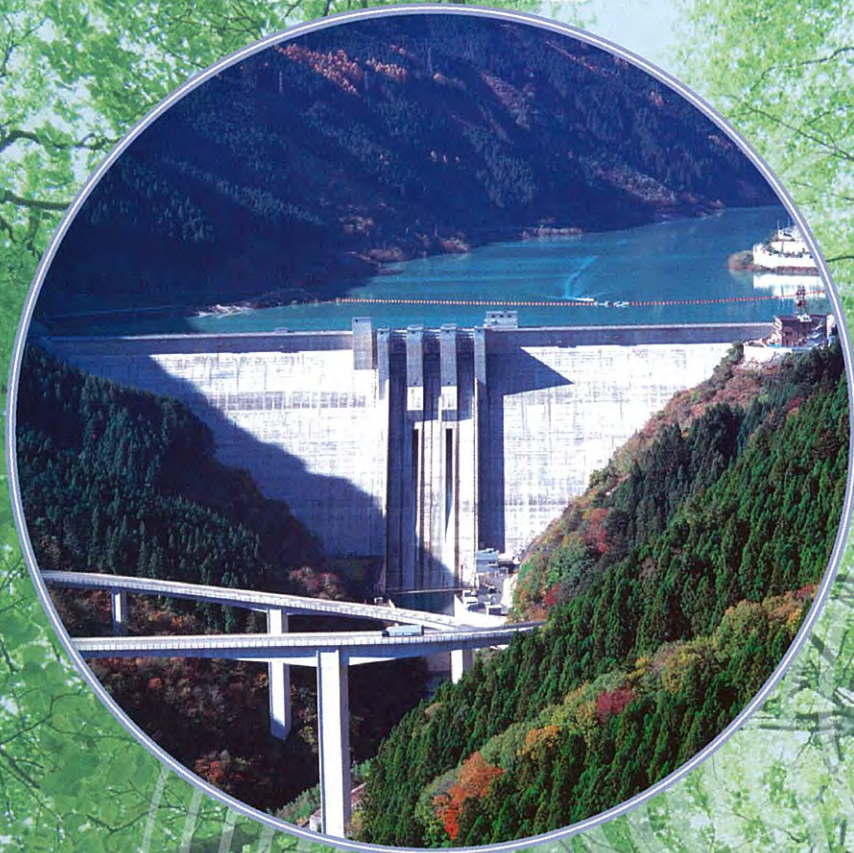


荒ぶる川の恵みを求めて

滝沢ダム／浦山ダム

TAKIZAWA DAM



URAYAMA DAM

荒川流域の概況と歴史・文化

(1) 荒川流域の概況 首都圏の機能を左右する重要な河川—荒川

首都圏を支える川、荒川。水を集める範囲は「荒川流域」。そしてそこは、河川が増水したときなどには大きな影響を受ける場でもあります。日本の人口・産業の約3分の1が集中している首都圏を縦断する荒川流域は、東京都と埼玉県にまたがっており、河川延長173km、面積2,940km²、人口930万人、人口密度約3,160人/km²。流域内資産額は約150兆円になります。(平成14年3月河川現況調査より) そのため、荒川は、治水(洪水防御)、利水(水供給)の面からも、極めて重要な河川といえます。

(2) 荒川流域の歴史(洪水、渇水)

1. 変貌する荒川

人の手によって流れそのものが変えられてきた荒川。その昔、荒川は東京湾に流れる利根川の支流として流れていましたが、約400年前の江戸時代に関東郡代の伊奈氏が、利根川と荒川の瀬替えを行うため、熊谷市久下付近で新しい河道を開き、和田吉野川に付け替えました。

さらに明治以降になると東京の洪水被害を軽減するため、荒川放水路を開削して、ほぼ現在の流れとなっています。

2. 荒川の洪水

荒川には過去に大きな洪水被害記録があります。

寛保2(1742)年の洪水では、武蔵国一帯が浸水して3,900人ものが死者が出ました。秩父郡長瀬町では当時の洪水の水位が崖や小学校のフェンスに表示されています。

この他、明治43(1910)年、昭和22(1947)年(カスリーン台風)、平成11(1999)年(熱帯低気圧豪雨)など、数多くの出水により氾濫をくり返してきました。

寛保2年、関東各地に未曾有の災害をもたらした大洪水の水位を示す史跡。▶
洪水後、奥の岩壁に「水」という字の磨崖標が刻まれた。



▲平成11年9月荒川の洪水(埼玉県熊谷市付近)
(写真提供) 国土交通省荒川上流河川事務所



▲平成28年荒川の渇水(埼玉県熊谷市付近にて「瀬切れ」発生)
(写真提供) 国土交通省荒川上流河川事務所

3. 荒川の渇水

首都圏では渇水のたびに取水制限の措置がとられ、広範囲の地域で人々の生活に影響を及ぼしていました。昭和62年、平成2年、平成6年、平成8年など、たびたび渇水の被害にあっています。

平成8年には、荒川中流部で、流水が途切れてしまう「瀬切れ」が発生し、多くの魚が逃げ場を失うなど、川の生態系にとって重大な問題となりました。

(3) 荒川源流域の文化

奥秩父地方には巨人伝説として、「でえだんぼう」の話が伝わり、秩父地方の大自然の成り立ちを物語っています。

浦山地域には、大日如来が奉られている浦山大日堂があり、縁日に舞う「獅子舞」は、埼玉県の無形民俗文化財に指定されています。

また、古くから山岳信仰や仏教の霊地として人々が多く訪れ、甲州・信州往還の政治、文化の要路として発展してきました。山岳信仰の聖地とまで唱われる三峯神社（鎌倉期の畠山重忠・新田義興、江戸期には将軍家・紀州家の崇敬）などがあり、当地には数多くの伝統行事が今に伝わっています。

荒川流域

荒川流域は、夏は雨が多い反面、冬は降雨・積雪が少なく、季節により雨量の差が大きな地域です。河川勾配が急なため一度大雨が降れば短期間で流域の水が荒川本川に流れ込み、それが平野部で氾濫するという調整のしにくい川です。



▲「でえだんぼう」伝説
水資源機構資料「雷電坊物語」より



▲浦山大日堂の獅子舞
大日様の縁日に舞われる獅子舞です。秩父市内の他の獅子舞とは異なり、跳ねる動作が多く、勇壮です。



■上空からみた荒川のすがた
秩父山系を水源にする荒川は、秩父市街から長瀬峡を抜けて関東平野を流れ、東京湾にそそぎます。

ダムの目的～滝沢ダムと浦山ダムの役割

滝沢ダムと浦山ダムは次の4つの目的を持つ多目的ダムです。

■洪水の調節

■既得取水の安定化・河川環境の保全

■水道用水

■発電

■洪水の調節（治水）

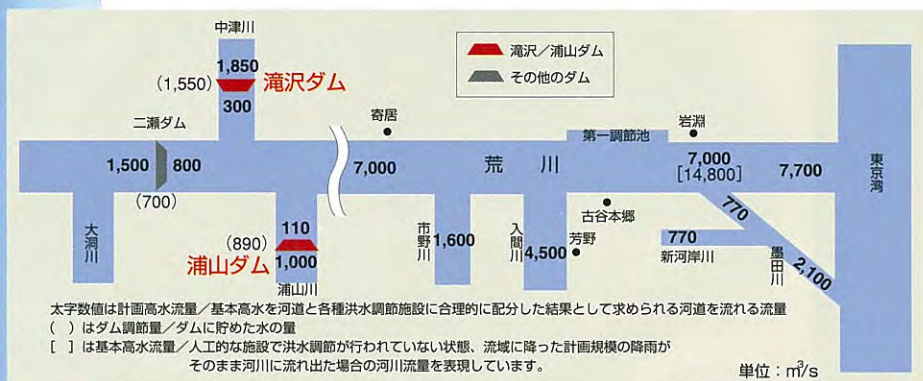
たくさんの水が一度に荒川の下流に流れないようにダムで水量の調整を行い、下流の洪水による被害を軽減します。



▲ダムができる以前は、大雨が降ると河川が決壊し、農地や住宅地が水につかる被害が多発しました。



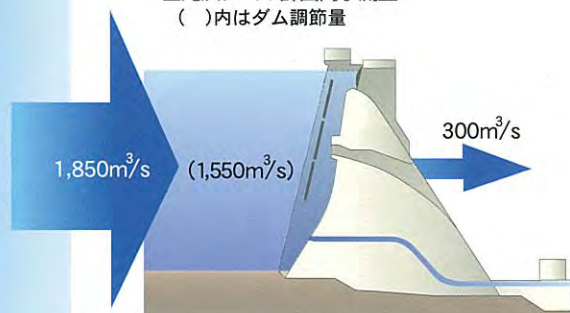
▲ダムがあると、大雨が降ってもダムで水量が調整され、川のはんらんを防ぐことができます。



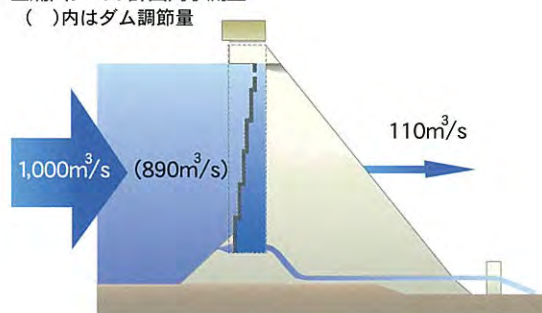
荒川水系治水計画図

荒川水系の治水計画は、荒川本川において200年に一度の頻度で起こるような洪水で増水した水を上流のダム群や河川の河道改修、調整池で減らそうという計画です。滝沢ダム、浦山ダムともにこの計画の一部を担っています。

■滝沢ダムの計画高水流量
()内はダム調節量



■浦山ダムの計画高水流量
()内はダム調節量



■既得取水の安定化・河川環境の保全

ダムに貯めた水を、雨の少ない時に川に流し、水の不足(渇水)を防ぎ、あわせて川の自然環境を守ります。

ダムがない場合



▲ダムができる前は、雨が少ない日が続くと川の水が少なくなり、水道や農業の水が不足したり、川の生き物の環境も悪化しました。

ダムがある場合



▲雨が多いときダムに水を貯めておき、雨が少ないときに川に水を流して、水道や農業に利用したり、川の生き物を守ります。

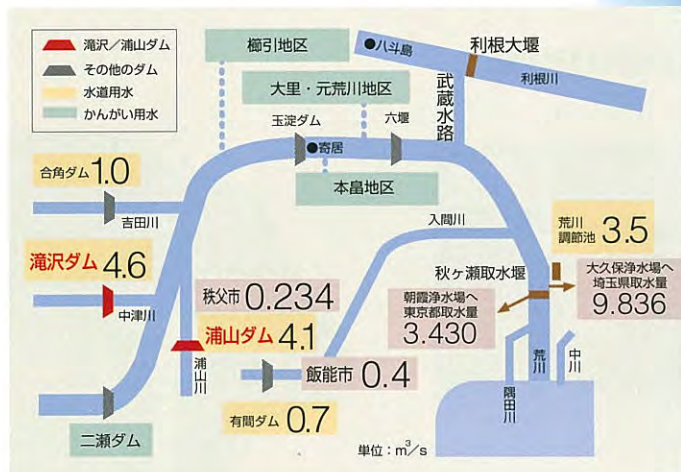
■水道用水(利水)

ダムにより新たに水道用水として使うことができるようになった水を下流へ送ります。

荒川水系利水計画図(水道用水・かんがい用水)

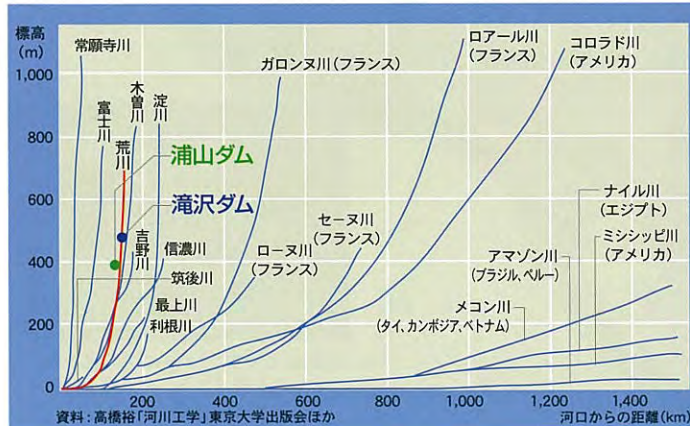
荒川流域では昔から豊富な地下水を利用してきましたが、近年の都市化に伴う人口の増加・産業の発展により水需要が増大し、地下水だけではまかなえないばかりか地盤沈下を引き起こしたため、首都圏では利根川や荒川の水を求めようになりました。

滝沢ダム・浦山ダムで開発した水の大部分は秋ヶ瀬取水堰より取水され浄水場を経て各戸に配水されています。



■発電

ダム下流へ放流するときの水の勢いを利用して電気を起こします。



◎ダムを必要とする日本の川事情◎

日本の河川は、海外の河川と比べて地形的に山が海岸線までせまっっていて平地が少ないため、河川の延長が短く勾配が急で、雨が降ると上流から下流までいっきに雨水が流れていきます。

これらの急流河川では、流路の延長が短く、山地から平地に出たところで典型的な扇状地を形成し、しかも、扇状地地形のまま海に注いでおり、洪水の危険性が常に懸念されます。滝沢ダム、浦山ダムはこうした日本を代表する急流河川のひとつに造られたダムです。

荒川に生きる

荒川ダム総合管理所は、滝沢ダムと浦山ダムの機能を維持、管理します。

荒川は、江戸時代の大規模な河川改修事業により現在の河道と同様の形になりました。「荒ぶる川ー荒川」、その名の通り、荒川は古来より洪水による被害をもたらしてきました。同時にその豊かな水量は、地域住民に多くの恩恵も与えてきたのです。

古くから舟運が栄え、またその肥沃な土地を活かした水田開発など荒川流域は穀倉地帯に生まれ変わり、人々の暮らしを大きく向上させてきました。

そして、現在、洪水による水害を防ぎ、水道用水や河川の環境保全、発電に利用するために、秩父市内には4ヶ所のダムが建設されています。このうち、滝沢ダムと浦山ダムの施設を総合的に管理し、効率的かつ効果的なダム運用及び水管理を行うのが荒川ダム総合管理所です。



滝沢ダム

Takizawa Dam

「緑の郷づくり」

緑に囲まれた水守の砦ー滝沢ダム

滝沢ダムは、埼玉県秩父市大滝（旧秩父郡大滝村）の荒川水系中津川に建設された多目的ダムで、管理は平成20年度から開始しています。

◆滝沢ダムの環境保全対策と「緑の郷づくり」活動

秩父多摩甲斐国立公園内に立地している滝沢ダムは、事業の実施による自然環境への影響をなるべく小さくすること(Low-Impact)を目標に、改変地を極力少なくするとともに、改変した土地については地域への影響を最小限にするため、植物の復元を実施してきました。

例えば、水没する地域に生育している希少植物の移植、また、郷土種による自然植生復元のために工事跡地への表土まきだし(埋土種子の発芽による自然植生回復)や、郷土種樹木種子を苗木まで育てて植栽するなど、積極的に実施しました。将来素晴らしい『緑の郷』となるよう、今後とも取り組みを進めていきます。



▲ダムサイト直



▲滝沢ダム周辺

滝沢ダムの管理用設備



にみる、滝沢ダム周辺の環境保全へのとりくみ



にかかる美しいループ状の「大滝大橋」と「甘六木大橋」



▲郷土種の種子採取



▲希少な植物の移植



▲「緑の郷づくり」活動の一環、どんぐりひろい



息するクマタカ



▲滝沢ダムとループ橋

滝沢ダム周辺地域の環境保全への取り組みの一環として、貯水池内などに生育する樹木の種子を収集・育苗(いくびょう)した上で滝沢ダム周辺に植栽することを、地域のNPOのご協力を得て実施してきました。



滝沢ダムの概要と事業目的

■洪水調節

ダム地点の計画高水量毎秒1,850m³のうち1,550m³をダムで調節し、ダム下流域の洪水被害の軽減をはかります。

■水道用水

(毎秒3.740m³) (毎秒0.860m³)
埼玉県・東京都の水道用水として、新たに毎秒4.6m³の取水を可能にします。

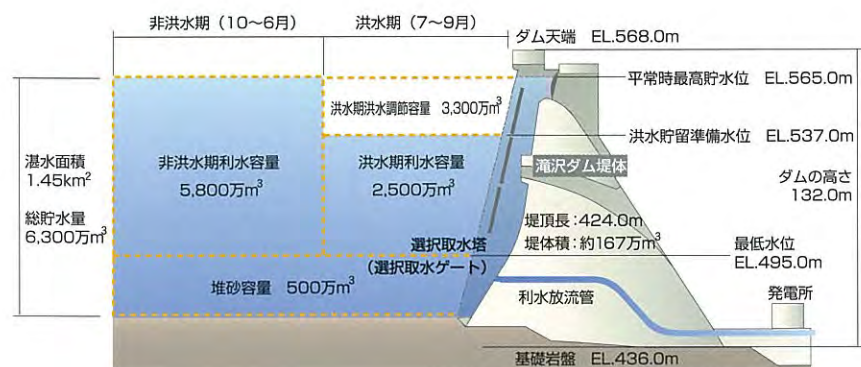
■既得取水の安定化・河川環境の保全

河川に必要な流量が不足しているときにダムから水を補給することによって、荒川沿岸の既得取水の安定化を図ります。また、水枯れをなくし、川の自然環境を守ります。

■発電

ダムからの放流水を利用して、最大出力3,400kWの発電を行います。

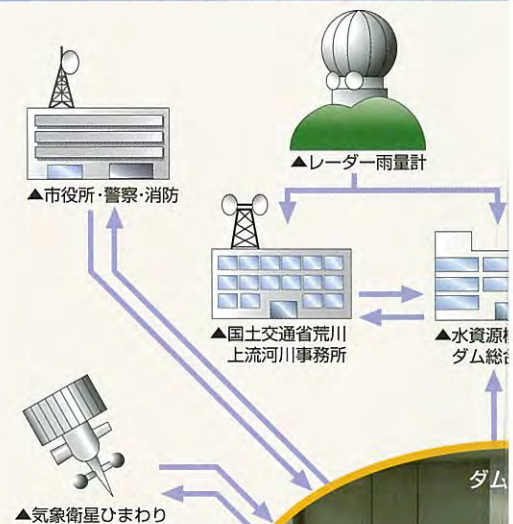
【滝沢ダム断面図】 集水面積=108.6km²



滝沢ダムの
マスコットキャラクター
ウルル君 フルルちゃん



24時間、365日の安心のため



洪水時の管理

台風や大雨が降った時に収集したデータをもとに洪水調節を行います。

気象・雨量・水位等のデータ収集

放流施設等の点検

データをもとにした出水の予測

放流や河川の増水を関係機関に通知

河川周辺の人々への警報・下流の巡視

放流開始

洪水調節

洪水調節の終了

渇水

降雨予測な
た水を計画

下流河川の気象

荒川水系の他の

補給

補給

開かれたダム

生命・生活・自然を守ります

浦山ダムの
マスコットキャラクター
ウラオくん ウララちゃん



浦山ダム

Urayama Dam

ダムを知りダムサイトにひろ

ダムと親しむための施設が充実

浦山ダムは、埼玉県秩父市荒川久那（旧秩父郡荒川村）の荒川水系浦山川に建設された多目的ダムで、管理開始は平成11年4月です。

◆地域に開かれたダムの先駆的な存在

浦山ダムは、『地域に開かれたダム』として周辺の整備を積極的に進め、『水源地域ビジョン』を策定するなど地域が活性化できるよう努めています。これからも都市型ダムとして秩父市と連携し、さまざまなイベントや交流体験を通じて多くの方々と接し、地域の活性化をめざして、積極的に取り組んでいきます。

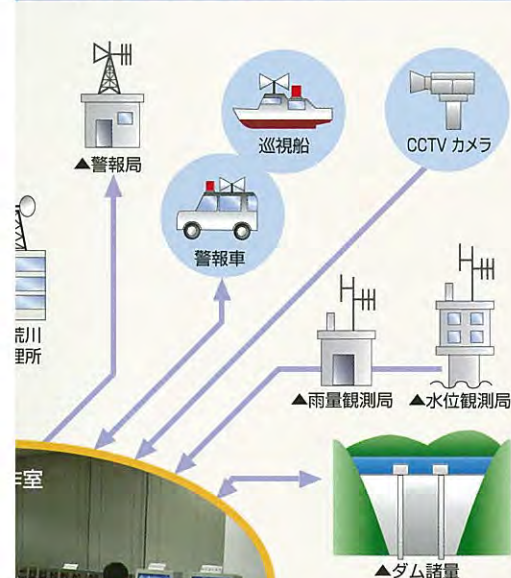


▲うららびあ（浦山ダム防災資料館）



▲湖岸の桜が美しい「秩父さくら湖」

浦山ダムの管理と情報ネットワーク



施設の管理

いつでもダムが活躍できるようにダム本体や設備などの点検を行います。

- ダム施設の点検整備
- データの検証や整理
- ダム本体の管理
- 貯水池周辺の巡視
- 各施設の維持や修繕
- 貯水池の水質などの調査

管理

もともと、貯め放流します。

量データの収集

や水路との連絡

決定

操作

浦山ダムの概要と事業目的

■洪水調節

ダム地点の計画高水量毎秒1,000m³のうち890m³をダムで調節し、ダム下流域の洪水被害の軽減をはかります。

■水道用水

(毎秒2,696m³) (毎秒1,170m³) (毎秒0,234m³)

埼玉県・東京都・秩父市の水道用水として、新たに毎秒4.1m³の取水を可能にします。

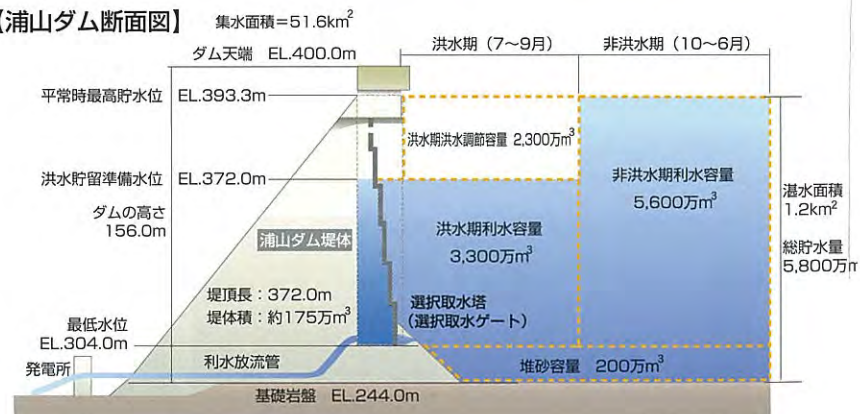
■既得取水の安定化・河川環境の保全

河川に必要な流量が不足しているときにダムから水を補給することによって、荒川沿岸の既得取水の安定化を図ります。また、水枯れをなくし、川の自然環境を守ります。

■発電

ダムからの放流水を利用して、最大出力5,000kWの発電を行います。

【浦山ダム断面図】



る、地域とのコミュニケーションの場



▲浦山ダム周辺地域の歴史を学べる「秩父市立浦山歴史民俗資料館」



▲浦山ダムと桜



▲十二支が刻み込まれた天然石が方角に合わせて設置されている「天望の広場」

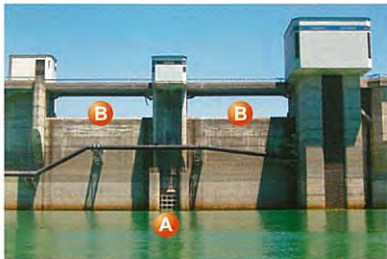


▲自然の尊さを学ぶ自然環境学習会

浦山ダムでは、ダムに親しむための施設がダムサイト周辺に点在し、地域とのコミュニケーションの場として活用されています。



浦山ダムの管理用設備



▲貯水池側から見た常用洪水吐き(A)と非常用洪水吐き(B)。

■監査廊



▲C 監査廊／エレベーターにつづく連絡通路は一般に解放され、浦山ダムにちなんだギャラリーになっています。



▲C 階段部分にも写真パネルが展示されています。



▲D 堤体下左岸側にある監査廊の入り口



▲清水（せいすい）バイパス／洪水などでダムの水が濁っても、貯水池上流のきれいな水を下流へ流せるよう、貯水池沿いに整備された約6.0kmのバイパス水路。

秩父市には、滝沢ダム、浦山ダムの他に二瀬ダムや合角ダムの4つのダムが存在します。それぞれ秩父市より1時間圏内に点在し、滝沢ダム周辺にはループ橋や中津峡、浦山ダム周辺には展望の広場や清雲寺、二瀬ダム周辺には、三十槌のつららや不動の滝、合角ダム周辺には秩父カタクリの里や吉田元氣村など多くの施設やみどころがあります。

ダムや施設を訪れた際には、近くに立ち寄っては
いかがですか？

- 名所・(観光)施設など
- ★ 紅葉の見どころスポット
- 🌸 花の見どころスポット
- ☀️ 日帰り温泉
- ◇ 公共の宿
- 🚣 釣り場・観光釣り場
- 🏕️ キャンプ場
- 🚲 レンタサイクル貸出所
- P 駐車場（無料）
- 🚻 公衆トイレ
- 🚶 道の駅（駐車場・トイレあり）
- 市町村役場・総合支所等
- 国道
- 一般道路
- 私鉄
- 国立・県立自然公園
- 郡県界
- 市町村界
- 水系



▲芝桜の丘 (F-2)

秩父市の花と木



花

▲シバザクラ



木

▲カエデ

荒川上流の鳥と魚

鳥



▲キビタキ



▲クマタカ

魚



▲イwana



▲カジカ



【荒川ダム総合管理所(浦山ダム)】

- 秩父鉄道「浦山口」駅下車 徒歩約40分
- 関越自動車道「花園」I.C.より国道140号で約35km



【滝沢ダム管理所】

- 秩父鉄道「三峰口」駅下車 車で約20分
- 関越自動車道「花園」I.C.より国道140号で約60km

水がさえる豊かな社会



独立行政法人水資源機構

荒川ダム総合管理所【浦山ダム】

〒369-1801 埼玉県秩父市荒川久那4041

TEL.0494-23-1431 FAX.0494-23-7912

URL <http://www.water.go.jp/kanto/arakawa/>

【滝沢ダム管理所】

〒369-1901 埼玉県秩父市大滝3021

TEL.0494-55-0090 FAX.0494-55-0099